

テュートリアル課題 勘違い

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032359

2008年度 Block. 6

課題 No. 7

課題名：勘違い



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

尚子さんが1年ぶりに実家の76歳の母親のはる子さんに会った時の同居している姉（夏子）をまじえた会話。

尚子「テレビの音はずいぶん大きいのね。」

はる子「新聞は読みづらくて、あまり見ないわ。最近は年のせいで勘違いも多くて迷惑をかけているかもしれないわね。」

夏子「言ったことをすぐ聞き返すことはよくあるわよ。」

夏子さんは、困った顔をして言いました。

抽出が期待される事項

高齢者

視力低下

聴力低下

生理的の老化と病的の老化

シート2

翌日の夏子さんと尚子さんとの会話。

尚子「多少の物忘れは誰にでもあるし、年をとればしかたがないでしょう。母の場合も話をした感じではそんなに記憶が悪いとは思わなかったけれど。」

夏子「あなたから電話があったことも忘れてるし、10分前に言ったことを聞き返すこともあるわ。最近、特にひどくなってきたようだよ。」

尚子さんは疲れ気味の夏子さんの顔を見て、あらためて自分が知らなかったことが多いことに気づきました。

抽出が期待される事項

もの忘れ

記憶

認知症

シート3

はじめて専門医を受診した日、はる子さんは担当医にむかって丁寧に挨拶をして診察室に入りました。

担当医「今、何か困っていることはありますか？」

はる子「そうですね、特に悪いところはありません。」

後ろにいる娘たちを振り向きながら話を続けた。

担当医「ところで、今日は何月何日でしたっけ？」

はる子「今日は新聞をみてこなかったから・・・」

担当医「平成14年2月14日ですよ。これからもう少し詳しく診察をしてみましよう。」

提示資料

- 1) 1. 現病歴、2. 身体所見・神経学的所見
- 2) 1. 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)、2. Mini-mental state examination (MMSE)
- 3) 一般検査：1. 尿・血液生化学検査、2. 胸部エックス線写真・心電図
- 4) 血液特殊検査
- 5) 脳MRI (正常例を含む)：水平断、冠状断、VSRAD
- 6) 脳血流検査：SPECT (正常例を含む)
- 7) 脳波

抽出が期待される事項

病識の欠如

見当識の障害

アルツハイマー型認知症の診断

シート4

アルツハイマー型認知症の診断をうけ、約1年後のかかりつけ医との会話。
夏子「おかげさまで薬を飲みはじめてから少しはつきりしていることが多くなりました。でも最近はお金を盗られたとありもしないことを言うことがあります。夜も寝ていないことが多くなってきて困っています。これからもっと症状は進行するのでしょうか？」
かかりつけ医「・・・」
夏子「認知症に関連していろいろな症状があるのですね。介護保険もできるだけ利用していきたいと思っています。」

抽出が期待される事項

アルツハイマー型認知症の概念

アルツハイマー型認知症の臨床経過・治療

妄想

不眠

介護保険制度

シート5

はる子さんは地域包括支援センターのもとかかりつけ医の診察やアドバイスを受け在宅で療養をすることになりました。

その後、はる子さんの状態は数年の経過で自発性が低下し、言葉数が減って、食事をすることにも時間がかかるようになりました。平成20年1月15日、発熱と呼吸困難が出現し検査の結果肺炎と診断されました。河田病院に入院して治療を続けましたが効果はえられず1月28日、午前7時18分に死亡しました。病理解剖は行われませんでした。主治医から夏子さんに経過の説明があり、死亡診断書を受け取りました。

提示資料

死亡診断書

抽出が期待される事項

地域包括支援センター

終末期医療

死亡診断書